

こんにちは！「ひろこく」です



平成20年11月10日

広島国道事務所からの  
お知らせ

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ  
広島県政記者クラブ  
中国地方建設記者クラブ

平成20年度  
第1回 国道2号大野地区沿岸部防災対策検討協議会  
をおおの  
を開催いたします！

- 平成20年度「第1回国道2号大野地区沿岸部防災対策検討協議会」を平成20年11月13日(木)の13:30から、廿日市市大野支所33会議室で開催しますのでお知らせします。
- 国道2号の廿日市市丸石<sup>はつかいちしまるいし</sup>～大竹市玖波<sup>おおたけしくば</sup>3丁目付近の台風などによる越波対策工法について、平成18年度設立した防災対策検討協議会で、引き続き検討します。  
(※詳細は別紙参照)
- 報道関係者の協議会聴講は可能です。  
また、協議会当日、報道関係者の方からの質問等については、協議会終了後とさせていただきます。

●問合せ先

中国地方整備局 広島国道事務所  
【担 当】管理第二課長 <sup>かまた</sup> 鎌田 <sup>ゆうすけ</sup> 裕介

【広報担当】計 画 課 長 <sup>いな い</sup> 稲井 <sup>やすひろ</sup> 康弘

TEL(082) 281 - 4131 FAX(082) 286 - 7897  
ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku>

道の相談室 <sup>ドカ ヨナレ</sup> 0120-106-497

# 「国道2号大野地区沿岸部防災対策検討協議会」について

## ●目的

近年の相次ぐ大型台風の来襲により、広島国道事務所が管理する沿岸部の国道においても、越波・高潮などにより部分崩壊や全面通行止め等の被害が発生しています（廿日市市丸石～大竹市玖波間では過去5回。特に平成16～18年は3年連続）。

今後も同様な越波や高潮被害の発生が予想されることから、本協議会では関係自治体や学識経験者、さらには地域住民が一体となって、沿岸部における具体的な防災対策（越波対策）を検討し、地域の防災力を一層強化していくことを目的として、平成18年度から協議会を設置し検討を進めているものです。今年度は隣接区間（区間を2区間に分けて検討）の具体的な護岸の設置位置、整備内容等について検討を行います。

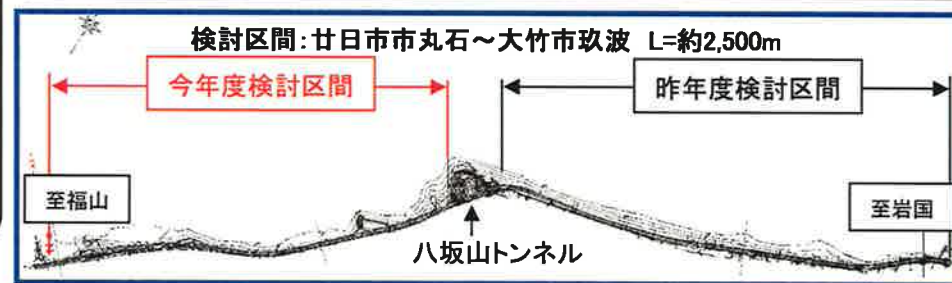
## ●平成18年度,19年度(計5回)協議会の検討概要

### ～平成18年度協議会(3回開催)～

- 前提条件整理（被災状況・砂浜の保全・海浜利用への配慮・景観検討等）
- 対策工法の抽出、整備水準等の比較検討
- 有力な対策工法（前面消波ブロック式、フレア護岸等）の比較検討
- 地域を対象とした感性アンケートの実施（フレア護岸の好感度が高い結果に）
- フレア式護岸の性能検証（水理模型実験の映像）
- 護岸整備における、問題点・課題の抽出

### ～第19年度協議会(2回開催)～

- 現地調査結果（測量・地質調査）を踏まえた、フレア護岸整備方針及び模型実験による機能検証
- 歩道の整備（八坂山トンネル部）について
- 海浜の変遷について（航空写真整理）



## ●平成20年度 第1回協議会の検討内容(予定)

- ◇平成19年度の協議会検討結果概要
- ◇今回検討区間の整備内容（階段部分、取付護岸の検討）、模型実験、海浜形状変化、パースによる景観評価
- ◇地域の防災力向上について

護岸イメージ(参考)



平成19年度第2回協議会の様子

